

舛添要一氏が辞職 急ぎよ東京都知事選に

「政治とカネ」をめぐる疑惑に都民・国民の批判が高まるなかで、舛添要一東京都知事が6月21日付で辞職した。石原慎太郎氏、猪瀬直樹氏につづく任期途中での辞職で、この4年で3回目の都知事選挙となり、3回のコ

ストの総額は130億円を超えるという。参院選から3週間後の7月31日投開票でおこなわれる都知事選の前の投票率は、46.14%と低かった。福祉の充実、貧困と格差の解消にむけた選択に全国から注目しよう。

福祉のなごま

2016年
7・8月号
第300号
全国福祉保育労働組合

〒111-0051 東京都台東区蔵前4-6-8サニープレイスビル5FA
TEL 03-5687-2901(代) FAX 03-5687-2903
メールアドレス mail@fukuho.org
メール・アドレス mail@fukuho.org
URL http://www.fukuho.info/
ツイッター @fukuho_info
発行責任者/多久和令一
2016年7月5日発行

トピックス
福祉

第22回社会福祉研究交流集会in北海道



5月21・22日、北海道札幌市内で第22回社会福祉研究交流集会が開催され、全国から152人が参加し、テーマ「これでいいのか福祉の現場～住民の権利と福祉労働の実態」を深めあいました。1日目は基調報告と問題提起、シンポジウム、夕食交流会、2日目は分科会・基礎講座・開催地企画、全体会と続き、2日間の学びを共有しました。その特徴をお伝えします。

これでいいのか福祉の現場

住民の権利と福祉労働の実態

「権利としての福祉」の実現めざす

基調報告に立った小山道雄副中央執行委員長は、「憲法にもとづく『権利としての福祉』と、その担い手にふさわしい福祉労働者の専門性と労働条件を実現していくのか、市場化と規制緩和、福祉労働者の生活破壊と専門性の解体を許すのかの対決にある」と情勢を分析。

集会テーマにふれたうえで、「福祉労働の現場が崩壊の危機にあり、専門性の発揮どころか、福祉労働者の労働力と生活の再生産が難しくなってきた。利用者・住民の権利を守ることができ



問題提起をおこなう石倉先生

なくなっている現実をリアルに描き出し、訴えてきました。

石倉康次先生の問題提起

国民と福祉労働者の連帯で 処遇改善を強く働きかけよう

シンポジウムに先立ち、石倉康次・立命館大学教授が問題提起しました(以下、概要)。

世界人権宣言は前文で人権を「世界における自

のうちに生存する権利」を掲げている点で共通している。

福祉労働はマニュアル労働ではない個性の高い労働と言える。相手が何を必要としているか、どのような方法でかわったらいいか、先に答えがあつて決まっているわけではなく、見極めていく。検証が必要なら修正も検討する。検討の結果を踏まえて社会福祉制度の修正や新たな制度の提案もおこなう。その意味でも福祉労働は研究労働でもある。

由、正義および平和の基礎」としている。社会福祉は平和の土台であり、平和を導く根本的な課題は福祉の充実にある。日本国憲法も前文で「平和かつ自由な世界を築く」という目的を掲げている。97年に介護保険法が制定されたが、国民の努力義務と負担が強調され、同時に企業参入の道も開かれた。利用契約制度と

よんがタイム



福祉の風

憲法改悪反対と福祉労働者の大幅な処遇改善を求め、ストライキを構えてたかおらと提起されている。ストをしなればいけない情勢なのかわかるけど、実際にやるとなったら大変だとも思う。東京都では1993年5月24日に「保育所措置制度の解体、公的保育・福祉制度の破壊阻止」公私格差是正制度の大幅改善!職員増による完全週休二日制と週40時間労働の確立を!」の3つのスローガンを掲げてストをおこなった。押し入れから出てきた当時の資料を読んで振り返ると、当時の分会長は熱い人で、連日会議を重ねてニュースを出していた。理事会に「意義はわかるが、なぜストか?」と言われたことも...。

あれから23年、東京都の公私格差是正制度は見直され、子ども・子育て支援新制度で公的保育の一部は切り崩されてしまったけれど、運動をしてきたからこそ今の水準を保っていることをひしひしと感じた。私たちも未来につなげる運動をしていこう。(小林)

参加者アンケートから

○働く環境や低賃金について改善の声をあげ続けないと何も変わらない。保育士という仕事は小さいころからの夢だったが、臨職なので自分の生活が不安。賃金の高い職種に転職したほうがいいとさえ思うことがある。声を大にして改善を求めたい。(北海道・保育)

○長く勤めてきたなかで、利用者・保護者ももちろんだが、若い職員に対しても再生産・育むことができるように努力していきたい。運営側や管理者に現状・現場を理解してもらえるように話をしていきたい。(北海道・障害)

○「福祉労働は研究労働」という言葉にそのとおりだなあと感じた。人と接する仕事で答えがない。その大変さと楽しさを感じて仕事をしていることを若い人にもっと伝えたい。

○憲法9条、25条、12条、人として生きる権利が守られているのがあたりまえの世の中にしていきたい。生き生きと働くために、組合員を増やしていくことが大事だとあらためて思った。

シンポジウム

深刻化する権利侵害の実態 施策改善の必要性が明らかに

～北海道の保育・高齢・障害分野のパネリストから報告～



保育分野
**施策と処遇の改善へ
今、声をあげる時!**

札幌保育分組
佐藤 智恵美さん

保育施策をめぐる年表を作成して、あらためて規制緩和の歴史を痛感した。札幌市も国に対して右へならせて、駅の高架下認可保育所をつくり、営利企業系経営する保育環境がすすめるられてきた。2014年1月には北海道労働局が60か所の保育所に立ち入り調査をおこなった。82%で何らかの法令違反があったことがNHKニュースなどで大々的に報じられた。

保育労働者が声をあげる時だ。処遇改善を求めて4月下旬に札幌市役所で、参加者がマイクを握って「保育士続いているの私だ」などのプラカードも掲げてアピールし、テレビや新聞でも大きく報道された。施策を改善させ、みんなで働きつづけていきたい。

高齢分野
**制度後退広がる不安
未来を描けるように**

かりが、あつべつ分會
田淵 孝行さん

札幌市厚別区のデイサービスに勤務している。利用者は平均で要介護度1・2は来年度から札幌市の総合事業になる。ポリにしてアピールしな旅行に行かない実態がある。メーカーでは経費削減に申し入れ、障害のある人がまじりつよに「障害者年金引き下げないで」などの思いを、

二ノズに悩めるための事業拡大の意義は理解するが、私たちの労働条件が下がってきていることが、厚別区は市内で2番目の27・8%で、事業所のある地区は40%と市内で最も高い。地域の訪問行動で高齢者の声を聞き取っているが、介護保険料・利用料が高い「生活が苦しい」2年金額が減ったなど切実な。賃金の低さまで人材確保が難しい。生きがいの働きが、未来を描けるようにしてほしい。

障害分野
**矛盾する政策の影響
事業所・当事者にも**

あかし労働福祉センター分會
五十嵐 理恵さん

イコールフットリングを理由に、障害者施設の退職金共済制度の新規加入分について不費助成が廃止された。募集しても人が来ない状況なのに矛盾した政策がすすら

あかし労働福祉センター分會
五十嵐 理恵さん

を理由に、障害者施設の退職金共済制度の新規加入分について不費助成が廃止された。募集しても人が来ない状況なのに矛盾した政策がすすら

パネリストの発言を受けて

3人の発言から共通して引き出せるのは、このような労働条件は福祉を守れない。やりたい仕事、人としての生活、働くこととしての生活の再生産があまりにも厳しくなっている。厚労省は現場を見ていないかも。市町村は現場に近く、現場が見える場所であり、働きかけていくことで何とかしたい。強みを持っている場を聞いていく。

札幌職場で働くという人がこんなことには、政府も経営者も労働者も困っている。一大アクションにとりくまないといけない。若い職員がクールだという指摘もあるが、行動力も注目したい。SNSで発信したり共有したりすることも含めて特別な工夫が必要だ。世帯をこえて連携する充実感と、組織で声をあげることを強みとする場を聞いていく。

福祉職場で何が起きているか 憲法25条を掲げて改善させよう

第1分科会
「福祉職場での働き方と健康をきえよう」

東京の介護職、大阪の障害福祉職場からのレポートを掲げました。関連する制度が改善されてきたことで、人員数が抑えられ、早給がストップするよな事態も起きている。

第2分科会
「福祉労働の専門性をきえよう」

「賃金が低く、人手が足りない」労働条件が厳しく、「忙しい」という枕詞から現場で感じていることが語られました。かつては、仕事が終わってからも職場以外で話をする必要がなかった。現在は、専門性を高める上で重要な職員集団ですが、多忙化の中で、組合の役割も問われています。「福祉は権利」を守り、さらに実現していくための専門性を身につけていく必要性が語られました。利用者に寄り添う形で制度改善に向けて取り組んでいく重要性を確認しました。

「買金が低く、人手が足りない」労働条件が厳しく、「忙しい」という枕詞から現場で感じていることが語られました。かつては、仕事が終わってからも職場以外で話をする必要がなかった。現在は、専門性を高める上で重要な職員集団ですが、多忙化の中で、組合の役割も問われています。「福祉は権利」を守り、さらに実現していくための専門性を身につけていく必要性が語られました。利用者に寄り添う形で制度改善に向けて取り組んでいく重要性を確認しました。

「買金が低く、人手が足りない」労働条件が厳しく、「忙しい」という枕詞から現場で感じていることが語られました。かつては、仕事が終わってからも職場以外で話をする必要がなかった。現在は、専門性を高める上で重要な職員集団ですが、多忙化の中で、組合の役割も問われています。「福祉は権利」を守り、さらに実現していくための専門性を身につけていく必要性が語られました。利用者に寄り添う形で制度改善に向けて取り組んでいく重要性を確認しました。

開催地企画
「しゃべっていいべや(部屋) ~思いを語る分科会~」

6人3つのグループにわかれ交流を深めました。自己紹介をすませて、スポーツにあらうえで職場での困りごとを出しました。後半はメンバー構成を交えて、人手不足その解決策を話し合いました。

種別も地域もちがうなかでしたが、残って仕事をすすめるのが当たり前になっている時間通りに帰る。話し合いました。

**職場の悩み、解決策は？
刺激をつけて深めた交流**

「確かに給料は安くその改善は必要だけれど、働きつづけていく中で仕事の魅力を引き上げていく。刺激を受けたら、若い人たちがどうな場に誘ってほしい」となどの感想も出されました。

**元気いっぱい!
全国保育部会学習交流会 IN 兵庫**
 6月18・19日 神戸市

神戸市内で第25回学習交流会を開催し、参加者は地元兵庫から100人をこえるなど、176人となりました。石川康宏・神戸女学院大学教授を招き、「政治と保育の関係は?!」政治がわからないのでは子どもは守れないや国の財源確保の矛盾などが話されました。1日目終了後には直伝行動をおこないました(写真)。

新たな分科会「保育の企業参入の状況と公的保育制度の堅持の運動」では京都地本の青いどり保育園分会から実情が語られ、交流できました。

主 張
福祉のなかま 今月の

安胎政権は「ニッポン」(億総活躍プラン)で、介護労働者は月額1万円、保育は月額6万円の負担を打ち出しました。経費を積んだ保育は月額4万円程度上げて、全産業の女性の平均賃金との格差をなくすことも盛り込んでいます。金産業平均との格差が月額10万円もあるなかで、福祉労働者の処遇改善任でおこなうしくみ

**見えないものを「見える化」して
職場や社会を変えていこう**

平和に安心して暮らす国民の権利・平和的生存権は、日本国憲法や世界人権宣言の前文にも謳われています。その権利保障を公的責任でおこなうしくみ

が、社会福祉制度です。その現場を担う福祉労働は、人を生み・育て・健康を保持する「人の生産」を担う専門性の高い仕事です。専門性を高めるためには、安心して働き続け

て、もっと広げたい。必要があり。プランの表面だけではなく、隠れた真のねらいを明らかにすること、見えないものを把握し「見える化」する力が、私たちに問われています。

「人権保障と福祉は平和の礎」といってここに確信を持つ、心に負けて、大いに学び語り、ともにたたかす仲間を増やして、具体的な一歩を踏み出すこと、職場も社会も変えていきたいと思います。

夕食交流会
クイズ企画で盛り上がる

乾杯・歓談、参加者・地域紹介とすすんだあと、開催地・北海道地本が企画したクイズ大会。各テーブルから選ばれた精鋭が次々に出される北海道の難解な地名漢字「興部(おこっべ)」「音更(おとふけ)」「留寿都(るすつ)」などの読み方を答え、その総合順位を当てるクイズ企画で盛り上がりしました。



基礎講座
「見えないものをみる力」「見えないものをみせる力」の発揮

前半は石倉康次先生を講師に「社会福祉とは何か」と題して、社会福祉の役割や特質を踏まえた上で、人の生産を第一に考えるのが、それと大企業の繁栄を比べ、福祉にみる福祉労働の現状

財源を削ぎし露骨に命を値切る露骨ななど、今後あり方が問いかかられ、後半は、地元・北海学園大学の川村雅則先生(写真左)が「調査研究にみる福祉労働の現状」と、福祉労働の課題をテーマに話されました。福祉・保育の広義の専門性として「政治に無関心でいられない」と強調。保護者・利用者などに対する「見えないものをみる力」と、福祉労働の実態などを伝えるうえで、「見えないものをみせる力」が問われていると投げかけました。

川村先生はまた、知人・友人の福祉労働者を組合に誘うことなどを例に挙げ、「具体的な一歩を踏み出さなければ、職場も社会も変わらない。明日からぜひ一歩を！」と投げかけました。

福祉保育労 ニュースフラッシュ

大阪市内で社協・事業団種別協議会全国学習交流会が開催され、40人のなかまが参加しました。メインテーマは「生活困窮と地域福祉～現場から貧困問題を考える～」。

大分市内で社協・事業団種別協議会全国学習交流会が開催され、40人のなかまが参加しました。メインテーマは「生活困窮と地域福祉～現場から貧困問題を考える～」。

大分市内で社協・事業団種別協議会全国学習交流会が開催され、40人のなかまが参加しました。メインテーマは「生活困窮と地域福祉～現場から貧困問題を考える～」。

**身近に迫る貧困問題にどう関わるか
社協・事業団学習交流会**
 6月18・19日 大阪市

大分市内で社協・事業団種別協議会全国学習交流会が開催され、40人のなかまが参加しました。メインテーマは「生活困窮と地域福祉～現場から貧困問題を考える～」。

楽しくておもしろくて大好きだった自分の卒園した保育園に保育士として就職して、2年目に入りました。

子どもへの言葉かけや気持ちの受け止め方、遊びを展開し広げていくことの難しさを感じます。悩みや大変さもありますが、先輩保育士さんの子どもたちとの関わり方や言葉かけを見て学んだり、アドバイスをもらったりしています。

子どもたちの笑顔に癒

キラリふれっしゅインタビュー

子どもへの言葉かけや気持ちの受け止め方、遊びを展開し広げていくことの難しさを感じます。悩みや大変さもありますが、先輩保育士さんの子どもたちとの関わり方や言葉かけを見て学んだり、アドバイスをもらったりしています。

子どもたちの笑顔に癒

ハンドメイドのアクセサリショップや雑貨屋めぐり。ワークショップに行ったり材料をそろえて自分で作ることも好きです。

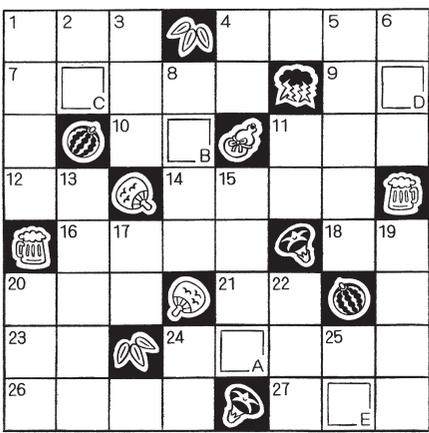


ほそかわ 侑華さん
1993年生まれ
長野支部・山の子分会

My
ぶーむ

子どもたちの笑顔から

がんばろう！の元気をもらって



答え A B C D E

応募方法

答えと「福祉のなかま」の気になった記事の感想、近況などを添えて、ハガキかFAX、メールで送付ください（地方組織・分会、氏名、住所明記）。紙面やホームページ等に掲載させていただきます。締切▶8月15日
発表▶2016年10月号
賞品▶正解者の中から3人の方に図書カード（1000円）進呈
宛先▶「福祉のなかま」編集部



【解き方】二重ワクの文字を、A～Eの順に並べてできる言葉はなに？

■ヨロのカジ

- ①……の最後っ屁
- ②ウナギ料理
- ③五輪の火がとります
- ④多い人は48もある？
- ⑤栗の実を包んでいます
- ⑥期日前にする……者投票
- ⑦もの……。猿……
- ⑧胸がすっとするよな……

■タテのカジ

- ①英虞湾のある国立公園
- ②魚へんに周と書いて？
- ③エレベーターではB
- ④サザエもハマグリも
- ⑤薬を調合します
- ⑥ふるさとに帰る……答
- ⑧大鼓もドラムも木琴も
- ⑨心身に……がかかる
- ⑩気温が25度以下にならない寝苦しい夜
- ⑪今……中の新進歌手

クロスワードパズル

■な冒険小説

- ①飼い主が苦労する猫の……
- ②甘柿と……柿
- ③天然ガスの成分
- ④しゅれ者は……の薄着
- ⑤無形文化……保持者
- ⑥桜の木を切ったことを父に告げた正直者
- ⑦ハイ、ポーズ
- ⑧……の地震
- ⑨小説……怪人二十……相
- ⑩銘柄……商品
- ⑪イワシの干物、シシヤモではない
- ⑫エンゼル。白衣の……
- ⑬漫画・鉄……アトム
- ⑭1000キログラムは1……

5月号を読んで

ひかり分会の「知る会」に参加して

福岡地本・つくしの里分会 林 妙子さん
1面で報告されていた福岡地本・ひかり分会の「知る会」に筑豊地区から参加しました。つくしの里分会でも「勝ち取ってきたもの」をみんなで振り返りたいと思いました。

Re：3人が加入しました

ひかり分会では、当日参加された方のなかで3人が加入したといううれしい報告がそのあとに入りました。関心と期待の高さを力にしていきたいですね。（編集部より）



分会結成のお祝いと激励の会でふれた純粋な思い

大阪地本・大阪福祉事業財団分会 原田 雄一さん
新たに結成した分会のお祝いと激励の会に参加しました。「働きやすい職場をつくりたい」という純粋な思いにふれることができ、私も刺激になりました。これからも協力していきたいです。

月1回の分会会議で悩みを聞き合いがんばる力に！

京都地本・みつばち菜の花保育園分会 馬場 美小枝さん
毎月1回分会で集まり、日ごろの仕事や大変なところ、悩みなどの話をして、「明日からがんばるぞー」と気持ちを高めて仕事に向かえるようにしています。

あったか共済

「ワンコイン共済」になって安心も大きく！

2015年度（2015年6月～2016年5月）の「ワンコイン共済」の給付状況

	請求件数	給付額
入院	37件	879,450円
休業	45件	571,950円
健康給付	231件	2,260,000円

「ワンコイン共済」に新しく新設された「健康給付」をはじめ、これまで対象外だった6日以下の病気入院（日帰り入院等）や5～9日間以上の休業（インフルエンザ等）も対象となりました。その結果、多くの加入者に給付をすることができました。

給付を受けたみなさんから、「10年間大きなケガや病気をすることなく働けた自分に思いがけないご褒美をいただきました」「ワーイ嬉しい！（大阪）府民共済よりもたくさんもらえました！」等たくさんの「入ってよかった」の声が寄せられました。

また「ワンコイン共済」は、「保育園で働く私たちにぴったり」「職業柄インフルエンザにかかる危険性が高いので、おススメです」「組合の多くの仲間がこの共済でずいぶん助けられるのを見ってきました。休業保障があるのはとても魅力的」との感想も！

まさに福祉職場で働く人におすすめの共済です。未加入の方はぜひ「ワンコイン共済」に加入しましょう！



休業給付のある福祉保育労共済でよかった！

体調を崩し、長く休職してしまったため、シングル家庭の我が家にとっては、大きな打撃となりました。しかも自分の掛けていた民間保険では何も給付対象とならず…。

しかし、組合の共済からは、休業給付をいただくことができ（しかも予想よりはるかに多く！）、本当に助かりました。「休業給付があるのは、この共済ならでは！」ですね。

ありがとうございました。

（東海地本・めいほく保育園分会）
ペンネーム ペんぺん草さん

7月1日から

「ワンコイン共済」継続加入のみなさまへ

2016年度の証書は7月中に発送予定です。掛け金の引き落としは毎月22日に指定の口座より引き落としとなります。ただし、「ワンコイン共済」のみ加入者・「火災共済」の掛け金は年払いが基本となっておりますので、7月22日に1年分の掛け金の引き落としとなります。

「ワンコイン共済」7月新規加入のみなさまへ

2016年6月中に新規加入申込書が共済会に届いた方は7月新規加入となります。今回、継続加入の事務手続きを優先しておこなったため、証書の発送ならびに初回掛金引落は8月といたしますので、ご了承ください。

分会共済担当者みなさまへ

2016年度「分会慶弔共済」の証書は8月に発送予定です。継続手続きのご協力ありがとうございました。

まだ継続手続きが済んでいない場合は、大至急手続きをお願いします。

新しい共済期間がはじまりました